

活動強化のため副会長を 3 人体制へ拡充

第 49 期も「キラリと光るトラベル懇話会」を目指す



トラベル懇話会は 6 月 4 日、帝国ホテルで第 48 期通常総会を開催しました。中東情勢の不安定化により経済状況の悪化や航空燃料不足など、観光産業への新たな逆風が懸念されるなか、活動強化を図るべく副会長枠を 3 名へ拡大することを決定しました。総会後の理事会では百木田会長をはじめ橋本、原、美甘の 3 氏の副会長選任を含む役員人事が承認されました。引き続き開催された第 49 期キックオフパーティーでは、5 期目を迎えた百木田会長が前期と同じスローガン「キラリと光るトラベル懇話会」を掲げて、有意義かつ楽しい活動の場作りに取り組む意欲を表明しました。

第 48 期（2025 年 4 月～2026 年 3 月）通常総会の冒頭で百木田康二会長は、中東情勢をはじめ国際情勢は厳しく、円安定着や物価高騰も非常に大きな問題となっているとの認識を示しました。そのうえで「我々の努力では改善できないことに考えをめぐらすより、我々が一丸となって改善できることに積極的に取り組むのが大事であると考えます。皆さんと集まり意見交換したり楽しんだりできるトラベル懇話会が、より活動の幅を広げられるように取り組んでいきたいのでご協力のほどよろしく願います」と呼びかけました。

また第 48 期のトラベル懇話会を取り巻く市場環境を振り返り、インバウンド市場が持続的な成長を記録し国内旅行市場もコロナ禍前の 9 割程度まで旅行者数が回復した一方で、海外旅行者数はコロナ禍前の 7 割にとどまったことを挙げ、「引き続きインバウンドの約 3 分の 1 というバランスを欠いた観光市場になった」と総括。海外旅行需要の回復がいまだに見通せないことに悔し

さを滲ませました。

第 49 期については中東情勢の悪化に伴う航空燃料不足や日系航空会社の燃油サーチャージの大幅引き上げなど予断を許さない状況だと分析。これを受けて「観光業界に直結する新たな逆風にいかに対処するか、



継続した課題である『経済要因』『旅行費用の高騰』『地政学リスク』を注視し、打開策の検討を進める」ことを第 49 期の事業計画の中心に据え

る方針を説明しました。

さらに記念すべき 2028 年の創会 50 周年を控え活動の質を向上していくため、より多くの会員が参加しやすい行事の提案や、会員相互のコミュニケーションと親睦を大切にしたい運営をし、産学連携事業にも力を入れる方針を表明しました。

百木田氏は会長続投で5期目へ

通常総会は正会員出席数70名、委任状37の議決権数107で、議決権総数(正会員数)136の過半数をクリアして成立し、第49期の事業計画が承認されました。また活動の強化を図る目的で副会長を3人体制とすることを提案。現在の「理事のうち2名を副会長とする」との役員の人数に関する定款を「2名以上3名以内を副会長とする」に改正する議案が承認されました。

第48期通常総会では第49期の役員を選任。佐々木潤氏(西武トラベル)、半澤信子氏(メキシコ観光)、松本晃氏(ユー・ティー・アイ・ジャパン)、広瀬正彦氏(トラベル懇話会事務局長)の4名の理事新任が決まり、10名の再任理事と2名の再任監事、任期中理事10名を含めた合計26名の役員を決定。 ↓ 第49期役員(パーティー欠席者を除く)

これに続き総会後の理事会では互選により百木田氏が第49期の会長に選任され、自身5期目の会長を務めることになりました。また3人体制となった副会長には原優二氏(風の旅行社)、橋本肇氏(エヌオーイー)に加えて新たに美甘小竹氏(フィンコーポレーション)が選任されました。

キックオフパーティーで観光庁が海外旅行重視を約束

第48期通常総会に続き開催された第49期キックオフパーティーで挨拶に立った百木田会長は、第49期における会長自身の活動スローガンとして前期と同じ「キラリと光るトラベル懇話会」を掲げると公表。「今期は変えようとも考えましたが、皆さんがトラベル懇話会を思うとき『この会は意見



も言えるし、皆で
わいわい楽しむこ
ともできる。すご
くいいよね』とな
るような会にして
いきたいと感じ
“キラリと光る”が
スローガンにふさ
わしく思えた」と説明しました。

来賓として祝辞を述べた観光庁の田中賢
二審議官は、3 月に閣議決定した観光立国
推進基本計画において国内旅行とアウトバ
ウンド拡大が 3 本柱のひとつに位置付けら
れたことを説明し「インバウンドと共にア



ウトバウンド
拡大にも観光
庁としてしっ
かり取り組ん
でいきます」と
約束しました。
また田中審議
官は「アウトバ
ウンド拡大は

日本人の国際感覚の向上、国際理解の推進
につながるものであり、航空ネットワーク
拡充の観点からも重要な政策」とアウトバ
ウンドの重要性を強調。パスポート発行手
数料が 7 月 1 日申請分から引き下げられる
ことも紹介し「アウトバウンド促進にとっ
て良い機会でありトラベル懇話会の方々と

退任理事に記念品贈呈

第 48 期をもって理事お二人が退任されました。島宗真太郎氏
(左)には会員拡充委員長として、また川嶋泉氏(右)には 8 年間に
わたり事務局長として、それぞれご活躍いただきました。百木田会
長からは懇話会への貢献を労う記念品が贈呈されました。



一体となりアウトバウンドを促進していき
たいのでご協力を」と訴えました。

日本旅行業協会 (JATA) の蝦名邦晴理事
長はトラベル懇話会との連携に言及。「ここ
に集まる懇話会の皆様の知見と課題を乗り
越えるための知恵を JATA とも連携しつつ、
パワーを結集し観光産業を
再び力強い軌道に乗せて行
きたい」と述べました。



この後、原副会長が「私が
若い頃には考えられなかつ
たことですが、いま若者た
ちは堂々と『地方活性化に
尽くしたい』『地方に外国人
を迎えて日本を紹介したい』と語ります。す
ごいと感じる一方で、そんな若者たちも
色々な国を見て、双方に交流して初めて、本
当のおもてなしや地方創生が見えてくるは
ず。若者たちに旅行業界に入ってもらい、
『先輩！外国ばかり行っていないで日本をも
っと知ってください』と注文され、『そう言
わず君たちも外国へ行ってこい』と言いま
いながら一緒に働いてみたいですね」と未
来への期待を語り、乾杯となりました。

